

シンポジウム

大阪的って何？

浪花百景・未来景

浪花百景から文化・歴史を学び
まち歩きで「今」を共有
生じた「何か」で未来に共感



2024

9.7

12:55-16:30

[開場 12:30]

大阪大学中之島センター 3階

大阪大学中之島芸術センター・スタジオ《大阪中之島美術館・北側西隣スグ》

主催：大阪大学総合学術博物館 / (一財)大阪市コミュニティ協会

共催：大阪大学中之島芸術センター

昨年の“大阪的シンポジウム”では“水辺から考える”をテーマに思考を深め「コミュニティをベースにした大阪」について考えをめぐらせた。

その中で“大阪市域・全般から「マチ（町あるいは街）に学ぶ」ことのできる、シンポジウムであってほしい”との声が内外から寄せられた。

そこで、今回から浪花百景に描かれた大坂……すなわち、大阪の広範・広域「それぞれの歴史と文化」を描いた浪花百景に学びつつ、今その近辺で生活する人らの活動に焦点・交流し、そのことから未来について考えてみる「浪花百景・未来景」を旗頭に《浪花百景から文化・歴史を学び⇄まち歩きで“今”を共有⇄生じた“何か！”で未来に共感》のもと、持続的なシンポジウムとして開催する。

本日のプログラム

主催者あいさつ

12:55

大垣純一（一財）大阪市コミュニティ協会 理事長

1 基調提案

13:00-13:45

大阪と京都の二都物語 — EXPO'70がのこしたこと —

井上章一 国際日本文化研究センター 所長

井上章一

国際日本文化研究センター
所長

1955年、京都府生まれ。京都大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了。京都大学人文科学研究所助手、国際日本文化研究センター助教授、教授を経て2020年より現職。専門は建築史、文化史、風俗史。1986年『つくられた桂離宮神話』でサントリー学芸賞、99年『南蛮

幻想—ユリシイズ伝説と安土城』で芸術選奨文部大臣賞。『関西人の正体』『キリスト教と日本人』『日本に古代はあったのか』『伊勢神宮—魅惑の日本建築』『京都ざらい』『京都まみれ』『ふんどしニッポン：下着をめぐる魂の風俗史』『大阪的』など著書多数。



2 研究・事例発表

13:50-14:30

① 浪花百景・未来景「まち人と歩く」

船越幹央 大阪大学総合学術博物館 副館長

まち案内人：鈴木和夫 お地藏さんの「まち歩き」ナビゲーター

笹山 学（一財）大阪市コミュニティ協会 福島区まちづくりセンター・アドバイザー

船越幹央

大阪大学総合学術博物館
副館長

1964年、京都市生まれ。大阪市立博物館、大阪歴史博物館の学芸員を経て、2023年より現職。専門は日本近代史・文化史で、大阪・京都など都市で生きる人々の生活・文化・意識を研究している。主著に『看板の世界』（大巧社）、『大阪の橋ものがたり』（共著、創元社）などがある。NHK「プラタモリ」大阪キタ編・ミニ編などに出演し、街歩きの楽しさを伝えている。



鈴木和夫



わが町・野田を愛する野田の住民。自営業引退後「ツアーコン資格」を取り、ボランティアな「お地藏さんのまち歩き」ガイドを四半世紀以上続けている。野田連合振興町会・副会長／野田2丁目第2町会・会長などを務める。

14:35-14:55

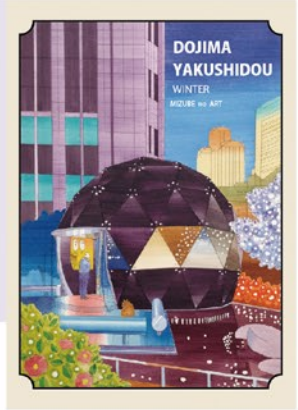
② 歴史を覗いて未来をアート……まちぐるみアートの予感「その事例として」

福永紀昭 大阪デザイナー・アカデミー

福永紀昭

専門学校 大阪デザイナー・アカデミー
イラストレーション学科教員

1985年より大阪デザイナー専門学校に奉職(現:大阪デザイナー・アカデミー)。主に基礎描画・作品制作指導。時代変化の中「まちと関わる」デザインについて、日々の探索とネットワークを重視している。



休憩: 10分

15:05-15:25

③ タペストリー展で見た浪花百景「これまでの50景・今年の10景」

波瀬山祥子 大阪大学総合学術博物館 研究支援推進員

波瀬山祥子

大阪大学総合学術博物館
研究支援推進員

1989年、熊本県生まれ。嵯峨嵐山文華館の学芸員を経て、2021年8月より現職。専門は日本の近世美術史。「きたのまちニュースレター」の浪花百景歳時記のコラム執筆、「浪花百景タペストリー展」の展示・解説に携わる。



浪花百景 第三十一景 「野田藤」

Blank lined area for notes.

15:30-16:00

④ 浪花百景を大伸ばしにしたら新発見！

橋爪節也 大阪大学名誉教授

橋爪節也

大阪大学 名誉教授

1958年、大阪市生まれ。東京芸術大学大学院修了。大阪市立近代美術館建設準備室（現：大阪中之島美術館）から、大阪大学総合学術博物館に移った。専門は日本美術史。展覧会では「没後200年記念木村兼葎堂一なにわ知の巨人」「北野恒富展」「没後80年記念佐伯祐三展」などに携わる。編著に『大大阪イメージ増殖するマンモス／モダン都市の幻象』『翼のある大阪 近世近代美術史論集』（創元社）など。



浪花百景 第一景 「錦城の馬場」

3 講評

16:00-16:30

余韻をピアノで奏でる

井上章一

「大阪的シンポ」次回に向けて

船越幹央

16:30 終了（予定）

※1：本プログラム冊子および昨年開催の「大阪的シンポ」ダイジェスト版冊子は非売品・実費頒布です。

※2：昨年、今年の2カ年にわたる「大阪的シンポ」成果は、「一冊」の公刊本として2025年度の出版を目指しています。

浪花百景・未来景

試みとしての「お地蔵さんのまち歩き」

2024.6.1
福島区野田



主催：大阪大学総合学術博物館／（一財）大阪市コミュニティ協会 協力：専門学校大阪デザイナー・アカデミー／ジュンク堂書店 大阪本店
共催：大阪大学中之島芸術センター 制作協力：コミュニティ・リゾート®
[本件・問い合わせ先] 大阪大学総合学術博物館 Tel 06-6850-6284 担当：波瀬山 / lee-y@osakacommunity.jp コミュニティ協会：担当・李有師